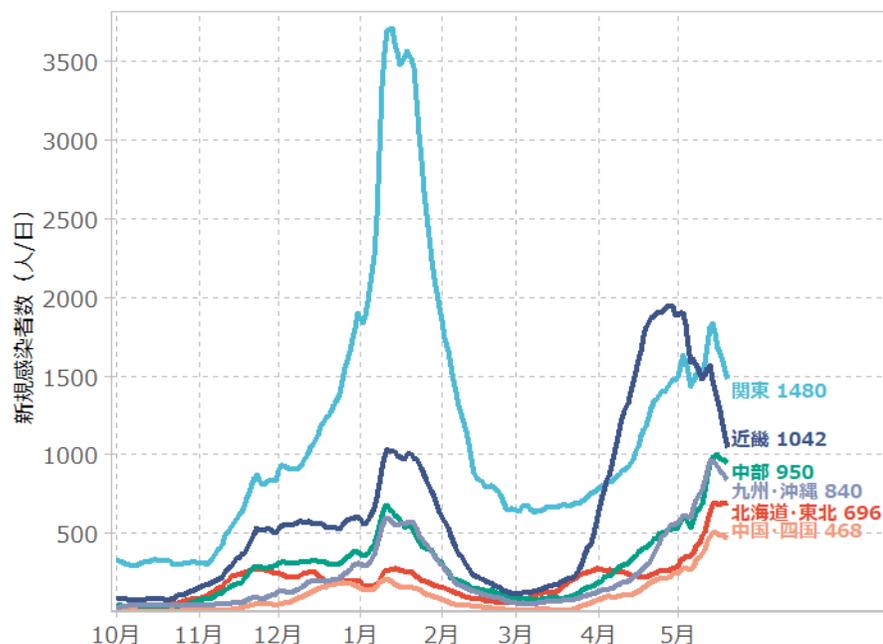


近畿以外の地域では新規感染者数が高水準。地域差が拡大

- 近畿でピークアウトが鮮明となる一方、その他地域では感染者数が高原状態
 - 近畿の新規感染者数は連休後に大きく減少。近畿は前回宣言並みに人出が減少し、感染抑制につながった模様
 - 一方、その他の地域は総じて感染者数が高水準で推移。まだピークアウトとは判断できず
 - 政府は沖縄に緊急事態宣言を発令(期間は5/23~6/20)。緊急事態宣言の対象地域は合計10都道府県に
- 小売・娯楽モビリティは連休後、全国的に急低下
 - **足元のモビリティ低下を踏まえると、近畿以外の地方でも5月末にかけて感染がピークアウトへ向かう見込み**

地域別の新規感染者数(7日平均)



(注)5/21時点集計値(直近データは5/20)
(出所) <https://covid-2019.live>より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

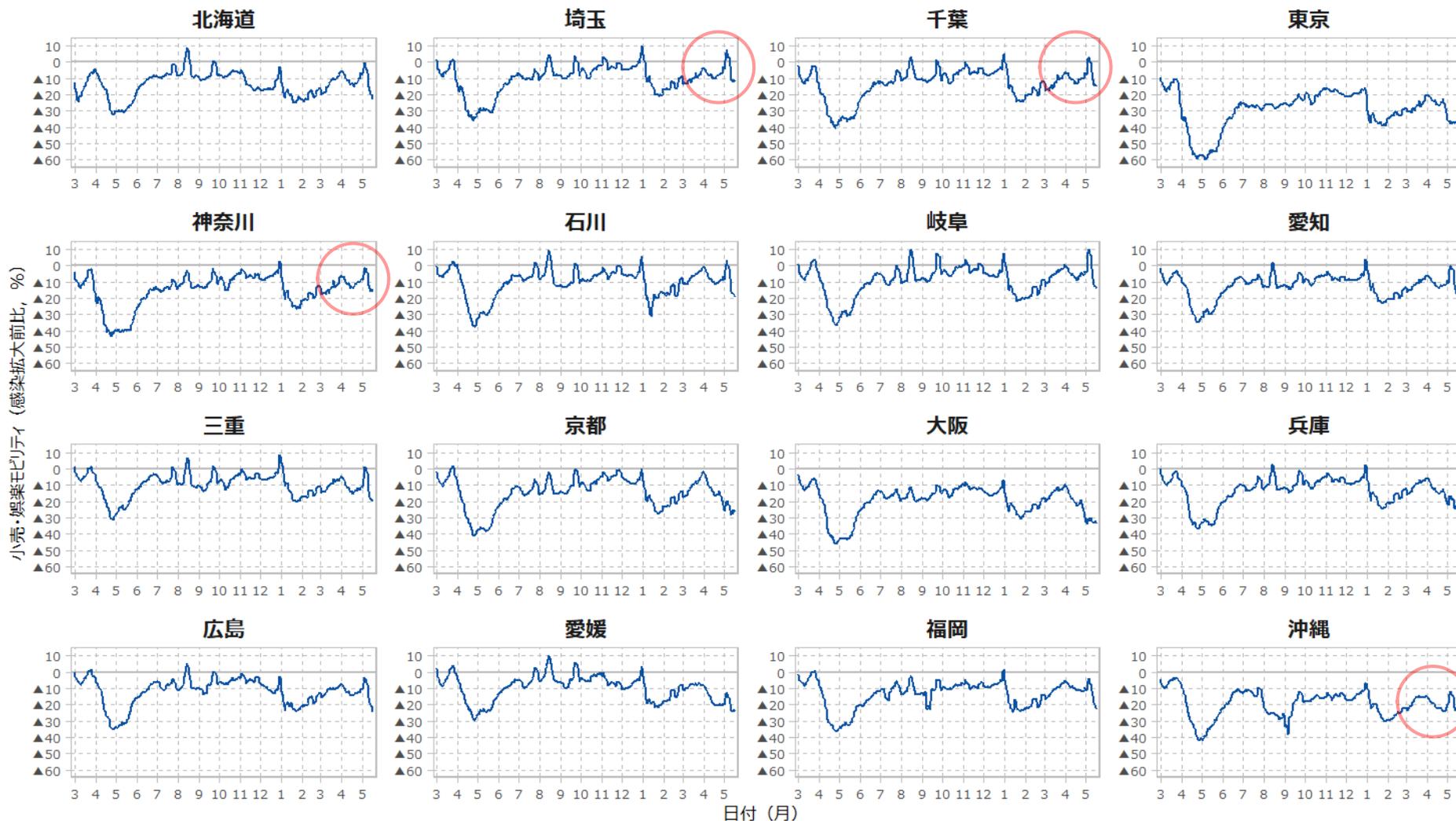
地域別の小売・娯楽モビリティ



(注)5/19更新版(直近データは5/17)。後方7日移動平均値
(出所) Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考) 日本: 主要都道府県の小売・娯楽モビリティ

- 足元のモビリティは地方中心に急低下。一方、埼玉、千葉、神奈川、沖縄は相対的に水準高く、感染への影響を注視



(注) 5/19更新版(直近データは5/17)。後方7日移動平均
 (出所) Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考) 都道府県別の人口10万人当たり週間新規感染者数とステージ判断

感染ステージ判断と対策

ステージ4

人口10万人当たり週間新規感染者数：25人以上

⇒緊急事態宣言の発令基準

(医療体制等の状況を総合的に評価し、都道府県単位で発令を決定)

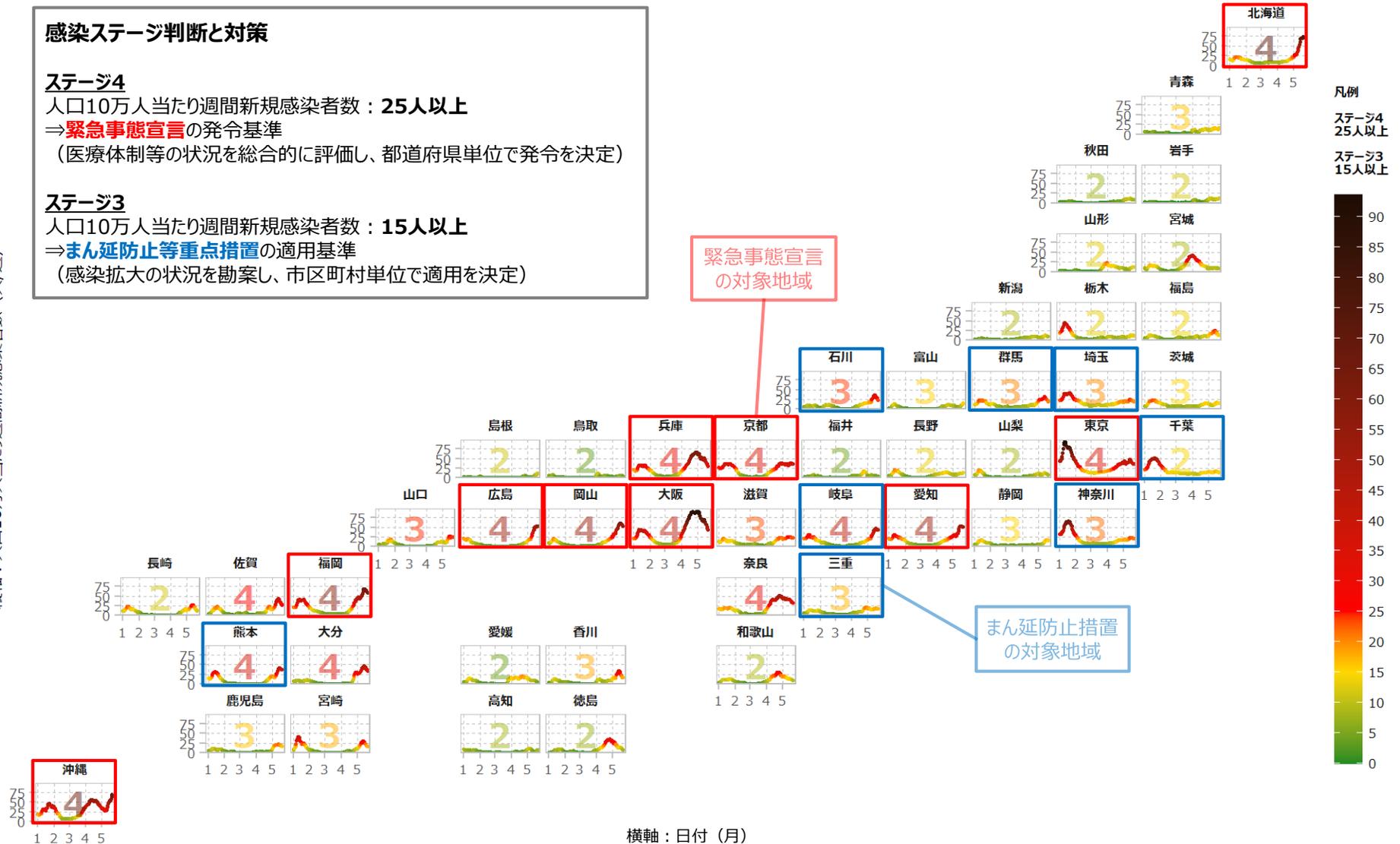
ステージ3

人口10万人当たり週間新規感染者数：15人以上

⇒まん延防止等重点措置の適用基準

(感染拡大の状況を勘案し、市区町村単位で適用を決定)

縦軸：人口10万人当たり週間新規感染者数 (人/週)

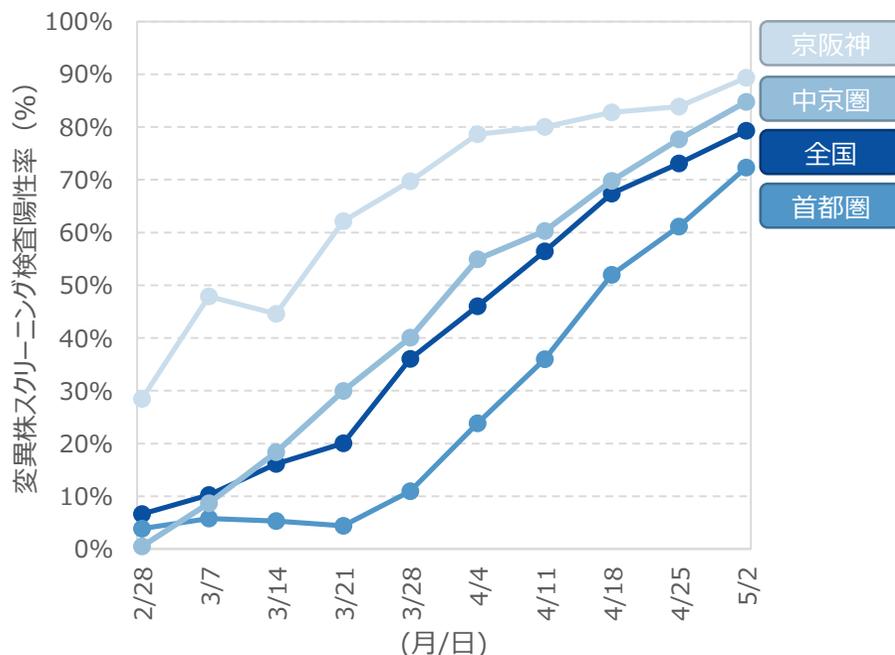


(注) 5/21時点集計値(直近データは5/20) (出所) <https://covid-2019.live>より、みずほりサーチ&テクノロジーズ作成

日本全国で変異株がまん延。今後はインド型変異株がリスク要因に

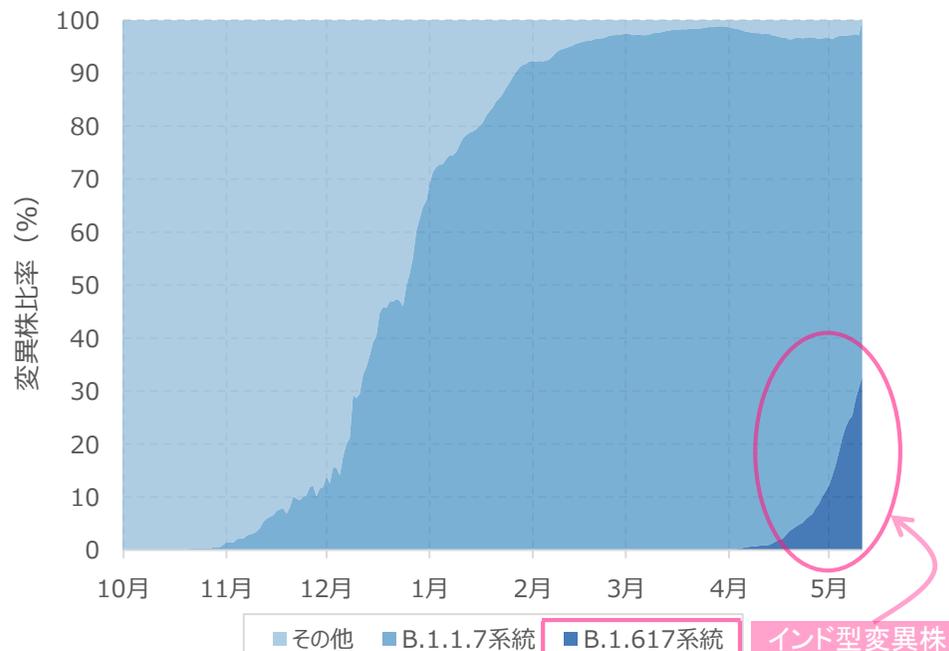
- 全国の変異株陽性率(英国型等のB.1.1.7系統)は5/3~5/9時点で79.3%に上昇。変異株が全国でまん延
 - 中京、近畿に比べ変異株まん延が遅かった首都圏でも72.3%と7割超え
- 足元では新たなインド型変異株(B.1.617系統)の国内拡大が懸念材料
 - 5/18時点の累計確認数は全国で8例(千葉:2、神奈川:1、静岡:2、大阪:1、兵庫:2)に留まる
 - 英国では英国型が急速にインド型に置き換わりつつあり、インド型が英国型より強い感染力を持つ可能性を示唆

地域別の変異株スクリーニング陽性率



(注) N501Y変異をもつ英国型、南アフリカ型、ブラジル型の合計(B.1.1.7系統)
 (出所) 厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

英国の変異株比率



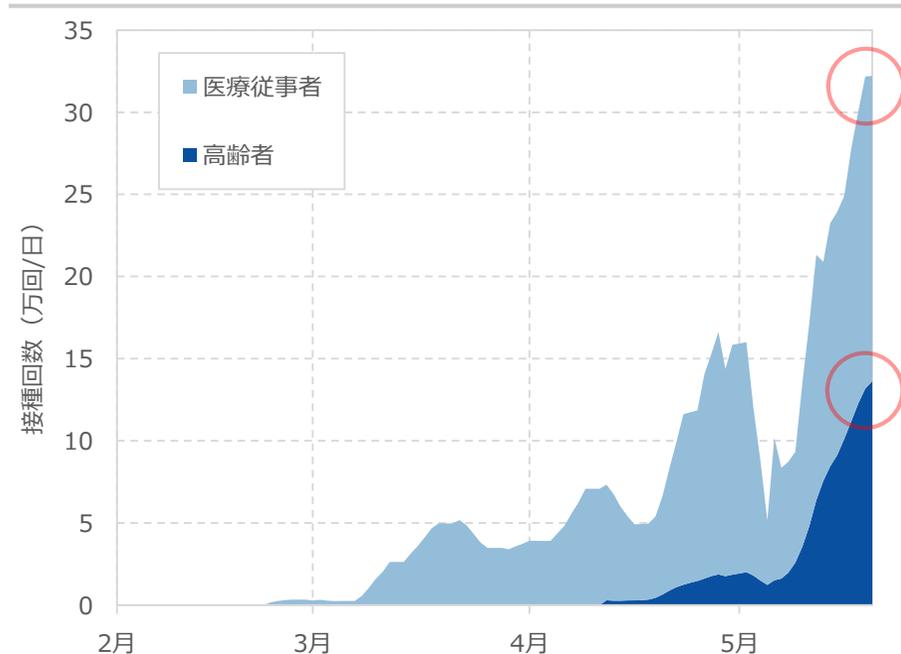
(注) 検体はランダムサンプリングされておらず、特に足元のデータは新規変異株の比率を過大評価している可能性がある点に留意

(出所) <https://outbreak.info>より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ワクチン接種回数は足元で1日当たり30万回超に加速

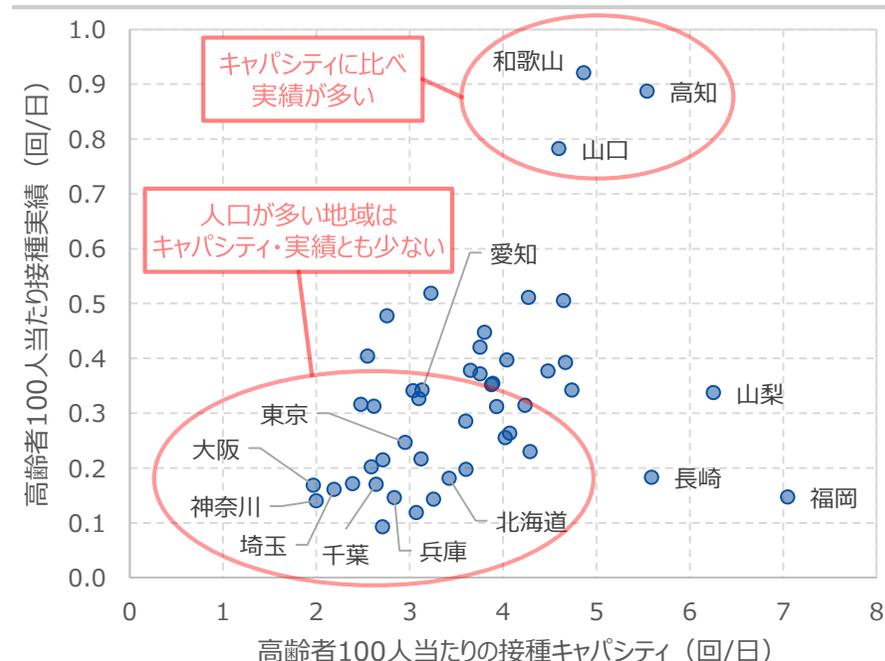
- 高齢者接種が加速し、ワクチン接種回数(7日移動平均値)が5/21時点で1日当たり32.2万回に
 - 高齢者が13.6万回/日(前週:7.6万回)と大幅に増加。医療従事者も18.6万回/日(前週:13.3万回)と加速
- 都道府県別では接種キャパシティと実績に一定の相関あり。大都市ほど人口比キャパシティ・実績とも少ない傾向
 - キャパシティに対し接種ペースが速い和歌山は、予約システム等の問題がない個別接種(かかりつけ医)が大半であること、保健所に県のワクチン担当者を配置し情報共有を図っていることが奏功している模様

日本のワクチン接種ペース



(注) 5/21時点集計値(直近データは5/20)。7日移動平均値
 (出所) 厚生労働省、首相官邸より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

都道府県別のワクチン接種キャパシティと接種実績



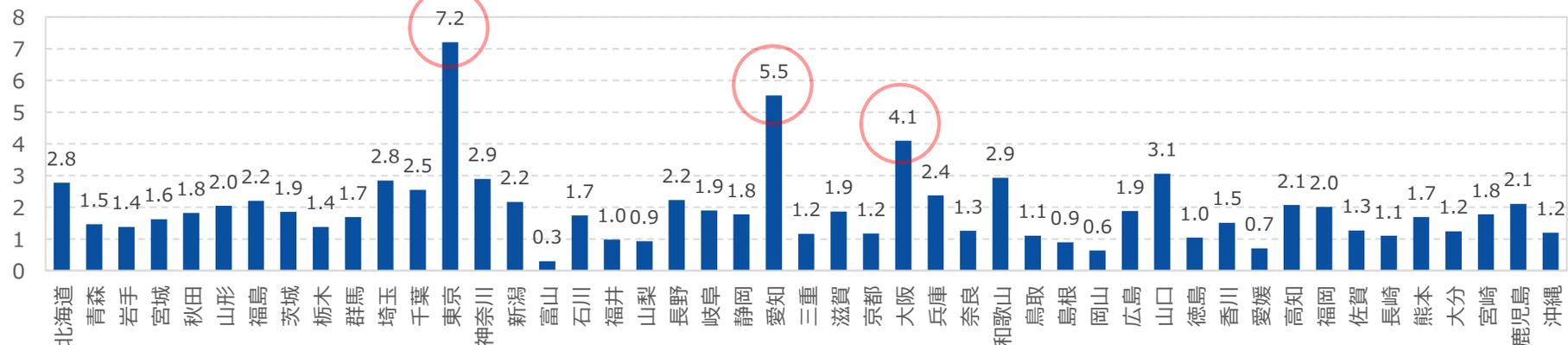
(注) 接種実績は5/10～5/16の値。
 練馬区の想定をもとに、1施設・1日当たり接種キャパシティを特設会場141回、医療施設(集団接種)34回、医療施設(個別接種)13回として計算。接種施設数は4/7時点。
 (出所) 厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考) 都道府県別の高齢者ワクチン接種動向(5/16時点)

- 接種回数は三大都市圏が多いものの、人口比では和歌山、高知、山口など地方が優位

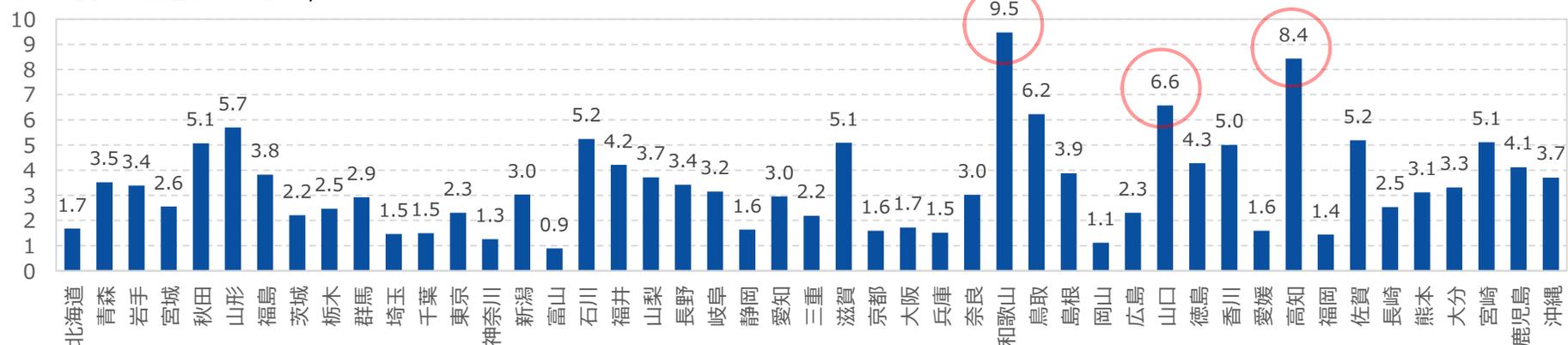
高齢者の1回目接種回数(累計)

(1回目接種回数の累計値, 万回)



高齢者のうち少なくとも1回接種した割合

(少なくとも1回接種した人の割合, %)



(出所) 厚生労働省より、みずほサーチ&テクノロジーズ作成

米国: CDCが「ワクチン接種後はマスク着用不要」との新たな方針を発表

- 5/13、CDC(米国疾病対策センター)は、通常的生活圏において「**ワクチン接種者は屋内外を問わず**、マスク着用や社会的距離確保が不要」との新たな指針を発表。国外からの旅行者に関しても、移動時を除くと着用は不要
 - 旅行者に対しては、公共交通を利用した移動中のマスク着用、米入国時の陰性証明提出が引き続き求められるが、ワクチン接種者は米入国後の隔離が不要に(従前は隔離が必要)
 - 実際のマスク着用義務撤廃は、州政府や企業の決定次第。州政府では、既に29州が完全に撤廃。企業の対応は分かれるが、商業施設に関しては着用を求めるところも多い

国内外旅行に伴う行動指針と義務(5/13時点)

	行動指針・義務	接種 未完了	接種 完了
国外からの旅行者	飛行機等での移動中のマスク着用 (滞在先での着用義務無し)	必須	必須
	米入国時の陰性証明提出 (居住者・非居住者問わず)	必須	必須
	米入国後のウイルス検査	推奨	推奨
	米入国後の自己隔離	推奨	
国内旅行者	飛行機等での移動中のマスク着用 (滞在先での着用義務無し)	必須	必須
	旅行後のウイルス検査	推奨	
	旅行後の自己隔離	推奨	

主要な接客サービス店のマスク着用方針

マスク着用義務 対象	主要企業
顧客・従業員 いずれも着用	【小売】Home Depot, Whole Foods, Walgreen
	【飲食】McDonald's(検討中)
	【娯楽】AMC(映画館), Disney
従業員のみ 着用	【小売】Trader Joe's, CVS
	【飲食】Starbucks, Chipotle
	【娯楽】MGM Resorts(カジノ)
着用不要	【小売】Walmart, Target, Costco(薬局など除く)

維持 ↑
↓ 緩和

(出所) CDCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(出所) 各種報道、各社プレスリリースより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

米国：6割弱の州で商業施設への収容上限が撤廃に

- ワクチン接種の進展を背景に、5月入り後、幅広い州で制限緩和の動きが拡大。NY州(5/19)は商業施設に対する収容上限を解除、ワクチン接種者に関してはマスク着用義務を撤廃。CA州(6/15)も同様の措置を予定
 - 4月末まで、収容上限の撤廃は、TX州を除けば経済規模の小さい州が中心。しかし、5月以降、NY州やCA州等も加わることで、上限撤廃の州は米国の6割弱(消費ウェイトベース)に拡大

商業施設への収容上限を撤廃済みの州、撤廃予定の州

実施時期	3月	4月	5月以降(予定含む)
州名 (括弧内は消費ウェイト、 実施予定日(5月以降))	アーカンソー(0.7%) アリゾナ(1.8%) コネチカット(1.4%) マサチューセッツ(2.7%) メリーランド(2.0%) テキサス(8.0%) ワイオミング(0.2%)	ジョージア(2.7%) ルイジアナ(1.2%) ミシシッピ(0.7%) ノースダコタ(0.3%)	カリフォルニア(13.3%、6/15) デラウェア(0.3%、5/21) メイン(0.4%、5/24) ミネソタ(1.9%、5/28) ニュージャージー(3.4%、5/19) ニューヨーク(7.4%、5/19) ネバダ(0.9%、6/1) オハイオ(3.4%、6/2) ペンシルベニア(4.1%、5/31) ロードアイランド(0.3%、5/21)
	全米の16.8%	全米の21.7%	全米の57.1%

(注) 消費ウェイトは2019年の実績値

(出所)各州政府、各種報道より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成